

シニア会員向け段級位制度の創設について

1. 制度創設の主旨

日本は急速な少子高齢化の時代を迎え、空手界もその影響を徐々に受けつつあります。東京本部加盟道場においても、少年会員の入会が横這い傾向にあり、他方シニア層(60歳超)の入会者が徐々に拡大している状況です。

自治体による健康寿命延伸政策や生涯スポーツ隆盛の動きを見れば当然の傾向と思料しますが、そのことにより、安全に配慮した稽古メニューの開発だけでなく、段級位制度の見直しも必要不可欠と考え、東京本部独自の施策として新たに創設することとしました。

2. 制度概要

(1) 新たな稽古メニューの開発

シニア会員を60歳以上と定義し、安全に最大限配慮した稽古メニューを開発します。

(2) シニア会員限定段級位制度の新設

上記(1)をベースに、従来と異なる審査科目、基準によるシニア会員限定の段級位制度を設け、本人の希望によって従来通りの審査を受験するか、または新制度による審査を受験するかの選択方式とします。また、入会後に新制度から現行制度への変更希望があった場合等の扱いについては、関係指導者・役員により都度協議を行い決定することとします。

3. 新たな段級位制度の概要(60歳を超えた新規入会者を対象)

区分	審査科目	最低修行年限	帯	審査登録料
シニア初級	基本技(突き、蹴り、受け)	1年以上	緑に赤一本線	3,000円
シニア中級	初級科目+三戦+完子和	3年以上	茶に赤一本線	3,000円
シニア上級	中級科目+十三	5年以上	黒に赤一本線	6,000円

※三戦審査は鍛え無し ※※審査登録料には帯代も含む

以上